

脈々 ^{スピリッツ} 高蔵 魂

(創立者 市邨芳樹のことば)

「他人の喜憂を自己の喜憂とす」

心を耕す道具は「ことば」であり、耕す作業が「思考」であり、耕された心の実りが「感性」である。

人は、耕された心の深さに応じてものごとを感じ取り、その感じ取れる深さに応じて人が思いやれるようになる。

書を紐解いたり、人の話に耳を傾けたりして考える習慣のない人に、悲しいかな、人の身になって考える、真の思いやりは生じない。

家族的同心協力は、実に吾人の生命とし我が校の主義とする所。 (「藪椿」10-4)